

# 決算

社の連携が図れるもので、台帳登録者は現在約90名程度である。支え合いマップ策定研修会を実施して、区長さん等にも理解と協力をお願いしているが、個々の同意という点でなかなか進まないが、台帳の重要性は認識している。

### 意見

要援護者となり得る方が制度を知らないことが多いので、本人にも機会を捉えて説明してもらいたい。

**問** 増加する外国人への健康福祉課関係の対応については。

**答** 薬物乱用チラシについては英語版も作成し、全戸配布している。また、当番医表については、英語版を村ホームページに掲載し、転入時に戸籍窓口でもチラシを配布、観光局ホームページからもアクセスできるようにして対応をはかっている。

## 住民課

**問** 窓口での外国人対応は十分であるか。

**答** 窓口対応は混雑するときもあるが、27年度から外国人対応職員を確保しているので、おおむね現状で足りていると思われる。

**問** 依然として多い持ち込みごみの状況等を含めた、ごみ収集の状況は。

**答** 生ごみ処理機の補助金額を上げたことで27年度は利用者が増えた。また、地区集積場のないところは引き続き設置を要請していく。モデル事業としておこなっている、集積場のない地区でのごみ収集方法の状況をまとめ意見調整していきたい。

## 農政課

**問** 特産品の紫米の作付状況等は。

**答** 2種類を植え付けており、年間平均で1.7ha、8.5tの収量があるが、在庫が余りぎみになっている。今後の調整も必要になるかもしれない。

### 意見

ふるさと納税返礼に活用する際には、レシピを入れるなどして工夫してほしい。

**問** 紫米利用促進と継続性については。

**答** 複数の大学や都市部での利用を図り、27年度は利用いただけるようPRしていきたい。

**問** 6次産業化への村の取り組み状況は。

**答** 6次産業化は特産品開発事業に含んでおこなっているもので、勉強会等を開催している。

### 意見

生産者に6次産業化についても情報提供をしてほしい。

### 意見

多面的機能支払い事業については、大規模な面積をおこなっている場合、地域にとって適切であるよう指導してほしい。

**問** 道の駅の視察内容と結果については。

**答** 特に民間によるPFI方式※1をとっている道の駅を視察したものである。運営は指定管理者によるもので、テナント募集により24時間管理できる体制の工夫など新たな方法も参考となった。

## 観光課

**問** 寡雪対策誘客事業の成果は。

**答** 事業は観光局でおこない、村は負担金を出したもので、旅行3社に依頼した。ネット上では期間内流通金額、人泊数ともに前年度比120%を超え、早い対応が功を奏したと思われる。

**問** Wi-Fi事業の効果と今後の増設の見通しは。

**答** 防災上の観点からの設置で、それなりの効果はあったと推察されるが、ポータルサイト※2からの情報提供については検討したい。エリア的にはまだ少ないと考える。利用者の声を聴きながら今後無料で使えるエリア拡大も考えていきたい。

**問** 小規模事業者経営改善資金への利子補給制度の継続性については。

**答** 補助率については検討をしていきたいが、補助は継続性については。

今後も継続していきたいと考える。

## 建設課

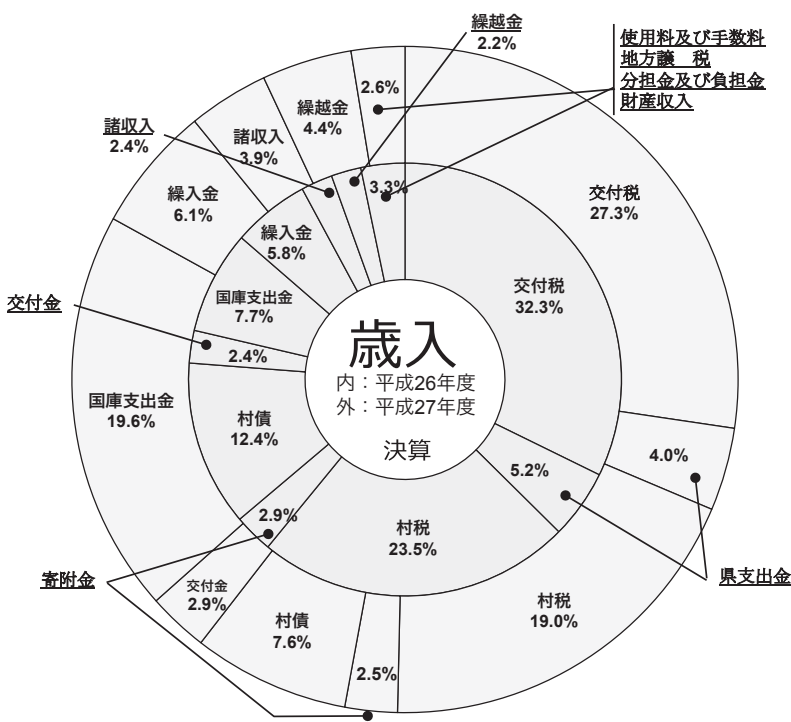
**問** 除雪事業について、寡雪時には除雪事業者への最低保証なども検討したほうがよいのではないか。

**答** 委託額には維持管理の損料についても鑑みたものとなっている。今後、最低契約額の補償については検討していきたい。

**問** 震災後、路面の損傷が目立ち、観光地としての道

**答** 補助率については検討をしていきたいが、補助は継続性については。

震災後、路面の損傷が目立ち、観光地としての道



※1 公共施設等の建設・維持管理に、民間の資金・経営能力・技術力を活用する手法  
 ※2 玄関や正門という意味の英語。インターネットで目的の情報に行き着くために入るウェブサイト